

Settsu Association for International Exchanges

摂津市国際交流協会



SAIEかわら版

第83号

2021年5月発行

## WEB講習会 (第2回) ~ZOOM活用法~

## 参加者募集

昨年末に実施した“初心者のためのWeb講習会”に続き、今回はZoomツールの活用法や効率的な運用方法について、わかりやすく教えて頂きます。

日程：2021年5月25日 (火) 午後2時~4時

場所：コミュニティプラザ 会議室5、6

講師：橘 明日香さん (モバイルエール代表)

対象：ボランティアおよび国際交流に関心のある方

定員：20名 参加費：無料

(Zoomでの参加も可能です。予約が必要です。)

\*スマホやタブレットをお持ちください。

会議室は、インターネット環境が整っています。

申込み：協会まで電話、メールで受付



### 講師のプロフィール

現在2児の母。前職の経験を活かし、ホームページ・印刷物デザイン制作 モバイルエールを立ち上げる。兵庫県立大学MBA他、神戸・阪神間の数々の個人事業、中小企業のホームページを制作。加えて、2児の母親としての時間的制約をバネに生み出した独自の視点での「ソーシャルメディアを活用した『インターネットコミュニケーション集客術』」が評判となる。

昨今はネット初心者の個人事業様向け様々な地域の商工会議所・商工会の起業塾・経営塾のWEB活用セミナー講師やミラサポ・ITサポーターとしても活動中。

個人事業主応援が生きがいでクラウドファンディングのキャンプファイヤーの公式サポーターであり、ネットショップBASEオフィシャルパートナーでもある。

\*新型コロナウイルス感染拡大の状況により、予定を変更する場合があります。

## 《協会からのお知らせ》

☆コロナ禍、国際交流活動の一環としてオンラインでの語学学習、料理教室や各種セミナーなどを検討中です。Zoomイベントの新企画を一緒に考えて頂くボランティアの方々、およびアイデアを募集いたします。(オンライン日本語サロン・オンライン英会話サロン・オンライン料理教室・各種オンラインセミナーなど) 国際交流に関心をお持ちの皆様のご参加を歓迎します。

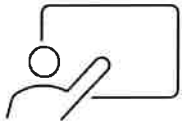


☆SAIEかわら版などの広報誌の編集をしてくださる方を募集します。

お気軽にお声をおかけください。

E-mail : office@settsu-saie.org

## <結果報告> JICAシニアボランティアによる講演会 ～ドミニカ共和国とジャマイカについて～



2021年2月18日(木) 午後2時～3時半 コミュニティプラザ会議室1,2  
発表者：ドミニカ共和国について 脇谷之清さん(剣道)  
ジャマイカについて 栗林千冬さん(コンピュータ技術)  
参加者：20名

JICAシニアボランティアとして、脇谷さんはドミニカ共和国において剣道の普及活動をされ、栗林さんはジャマイカにおいてコンピューター技術を生かし、農業開発の仕事(生産管理、システム開発、農業情報のシステム開発などの担当)をされておられました。それぞれの国でのお2人の経験をプロジェクターを使って分かりやすく話していただきました。以下、お2人の話から、滞在経験を通して感じてこられた各国の社会、文化について少し紹介します。

◎**ドミニカ共和国**：日本の文化(剣道、居合)に興味を持っている人がたくさんいる。コンビニはたくさんあり、水や食料は配達してくれる。治安、交通事情はあまり良くない。車優先社会だが、交通ルールを守らない。時計を持たない人が多いので、スケジュールがたたない。移動は、徒歩、バス、地下鉄、Uberタクシー等。人々は陽気で優しく、音楽とダンスが好き。

◎**ジャマイカ**：公用語は英語であるが、アフリカ系の住民が殆どのためアフリカのクレオール語が混じり、分かりにくかった。主要産物はコーヒーで、日本の企業が開発し8割くらいを日本に輸入している。気温は年間を通じて20度以上。美しい海や自然は素晴らしかったが、失業率が高く貧富の差があり、発砲事件も多い。スポーツは、野球、サッカーが盛んで、音楽はレゲエが有名。



ジャマイカやドミニカは名前だけは知っていたのですが、ほとんど知らないことばかりで、今回講演会を聞いてとまも勉強になり興味を持つことができました。これからこのような講演会を企画して欲しいです。

日本の文化を世界に広める仕事をされていま、とまもすばらしいと思います。又、その国の若人達が武士道を教わり、日本語を知り広めまくれることと思います。

## <結果報告> やさしい日本語研修 第3回「やさしい日本語ネットワーク会議」

2021年2月16日(火) 午後2時～4時半 コミュニティプラザ会議室5,6 Web受講  
主催：OFIX(大阪府国際交流財団)  
講師：上林政俊さん(大阪市生野区役所 企画総務課)  
参加：15名(うち3名は自宅Web受講)



多文化交流イベントや多言語対応のWeb版防災・水害ハザードマップの作成、やさしい日本語での表記などについて、多国籍の方が多いい生野区での取り組みを資料を使って実例をわかりやすく説明されました。今回は、Zoomでの講義により、会場以外の参加も可能でした。今後もWeb開催ができれば、受講者の幅も広がり、より参加しやすくなると思っています。

いろんな試みをされていま、まちの中での「やさしい日本語」があふれていま素晴らしいです。「やさしい気持ち」が大切。相手がわかれば正解」ですわ。

他市の特色や状況を知る事が出来ました。役所職員が情熱を持って取り組まれている事に感動しました。



## 2020年度・日本語教室の活動報告



コミュニティプラザ、公民館等で5つの日本語教室を開催しています。  
コロナ禍のなか、各教室ではボランティアの方々が感染対策に細心の注意を払いながら、頑張っている活動を続けています。



◎今年度はコロナの影響で、いつもの年とは違ったサロンになりました。4月からずっとお休み。7月9日に再開。母国に帰る予定が帰れなくなり、職場が変わり、遠くに引っ越された学習者の方もいました。例年のように、こどもの日、七夕、お月見、クリスマスなどのイベントもできず。そんな中、10月に万博公園へ遠足に行きました。秋晴れのもと、コスモスの花を見たり、森のトレインに乗ったり、久しぶりに会う学習者さんもいて楽しかったです。12月には日本庭園内の茶室で茶道体験をしました。皆でおいしいお茶をいただき、お茶の話を聞く。初めての方が多く好評でした。コロナが収束して、また、もと通りのサロンが開けますように。(日本語サロン)

◎コロナ禍のため制約の多い中での限られた実施となりました。企業研修生の置かれている状況は複雑化し、来室が途絶えた人、年度末になり多忙がひどくなって来室できなくなっている人がいます。中国語を使っている指導を望む学習者にはそれに応じていますが、ベトナム人、インドネシア人には日本語を使っている指導にならざるを得ません。彼らは簡単な日本語会話はできるので、語彙を増やすこと、簡単な漢字の読み書きができるようになることを重点に学習してもらっています。コロナ感染防止のためマスク着用での会話となり、口形が見えず発音も不明瞭となりがちで、やむを得ないとはいえ歯がゆさがあります。また、警戒状態が続く間は終了時間を30分繰り上げるようにしています。さまざまな要因で学習者の来室状況は安定しませんが、学習は皆礼儀正しく真面目に行ってくれているので指導者一同も頑張っていると思っています。(日本語学習会 南別府教室)



◎今年度は、支援者のコロナウイルス感染を防止するために公民館の対面学習は中止しました。代わりに、オンライン学習を実施しました。オンライン学習の利点は、画面を共有しながら学習できること、チャット画面を使ってメッセージを交換できること、復習できること、宿題を与えて画面を共有しながら学習できること、答えの添削もできることなどです。一方の欠点は、学習者の人数が限られること、書かせる学習には不向きなことです。コロナ禍が収束し対面学習が復活したあと、このオンライン学習を継続するかどうかは思案中です。(日本語教室 あじふ教室)

◎新型コロナウイルスの感染者が急激に増加する中、感染予防のため、飲食を差し控えたり、時間変更したりするなど色々な対策を行っていますが、早くすると、残業などで参加できなくなり、学習者は減っています。このような状況の下でも、みんなと楽しく過ごしたいとの要求が外国人からあり、漢字の票を用いた熟語づくりゲーム、すぐろくでの文章づくりゲーム等、色々なゲームを考え実施しています。



日本語の歌を歌うのも楽しそうで、妻の伴奏で7曲の歌の練習を間隔を空けて密にならないよう、また大声で歌わないよう気を付けながらしています。次のイベントなどで皆さんに披露できればよいと考えています。

(日本語教室 さくらクラブ)



◎ボランティアと外国の方とは、ほぼマンツーマンで出来ました。少しでも日本での暮らしが楽しめるように協力できればと考えています。ただ、今年はコロナのため、たまの会食などの行事ができなかったし、マスクをして話さないといけなくて相手の表情がわかりにくいことがありました。(せつつ日本語・SAIE)

## 日本語教室より ～学習者ノート～

※ 日本とインドネシア、のちがい。

インドネシアと日本は同じアジア大陸であります。でも、インドネシアが

東南アジアにあって、日本が東アジアにあります。したがって、両国にいくつか

のちがいがあります。

インドネシアと日本の有名なちがいは季節、せいけつさ、そしてきりつです。

インドネシアには2つきせつがあります。梅雨と乾季です。日本では4つ

きせつがあります。冬、秋、春、夏です。

日本にはごみしゅうじゅう日があります。例えば月曜日と木曜日にもえるごみを

捨て、水曜日にもえるごみを捨てます。インドネシアにはごみしゅうじゅう日は

ありません。いつでもごみを捨てることができます。インドネシアでは全部しゅうじゅうの

ごみを混ぜます。

インドネシアではどこでもタバコを吸ってもいいです。でも日本ではきつせん

エリアがあります。

日本では歩行者信号があります。インドネシアがありません。

日本ではいんかんがあります。インドネシアではしゅめいがあります。



インドネシア出身 アミさん

現在、日本語教室（火曜日と木曜日にコミュニティプラザで開催）に参加されているインドネシア出身のアミさんより、日本語の勉強で使っているノートを見せて頂きました。とても上手に丁寧に書かれています。

アミさんは母国では学校の先生をされていました。同じくインドネシア出身のご主人と共に日本で生活されていて、日本の会社での就職を目指して熱心に勉強されています。



### 図書館よりお知らせ〈ボランティアの方募集〉

摂津市民図書館・鳥飼図書センターにハングル・中国語・ベトナム語の絵本が新しく入りました。日本の作家の翻訳絵本だけでなく、各国オリジナルの本もあります。是非ご利用ください。現在摂津市民図書館、鳥飼図書センターでは年1回外国語のおはなし会を実施しています。おはなし会において外国語でおはなしを読んでくれるボランティアの方を募集しています。興味がある方は図書館までご連絡下さい。

摂津市民図書館 06-6319-0577 担当 肥後・小橋川  
鳥飼図書センター 072-653-1040 担当 杉山・山本



掲載内容に関するお問い合わせは

### 摂津市国際交流協会

〒566-0021 摂津市南千里丘5-35

摂津市立コミュニティプラザ2F

TEL: 06-6319-6251 FAX: 06-6318-6004

E-mail: office@settsu-saie.org

URL: <http://settsu-saie.org>

開室時間 平日 9:30~12:00

13:00~16:30 (第4水曜日は休館)

協会会員を募集しています。

年会費 個人3,000円 家族5,000円

青少年1,000円

法人・団体10,000円(1口)

当協会の事業に無料または割引で参加していただけます。「かわら版」をお届けし、参加申込みなどを優先的に受け付けます。